

令和2年度

社会福祉協議会事業報告

今日、少子高齢化の進行により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加しております。また、核家族化による家族規模の縮小も進行しているため、家族で支え合う機能が弱くなっています。そして、住民相互のつながりが希薄になり、社会的孤立者が増加傾向にあるなど、地域において孤立を起因とする様々な福祉課題も顕在化しております。

このような中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域住民の方々とともに地域福祉活動を通じた支え合いのまちづくりを目指して、神戸地域福祉活動計画の基本理念である「人と人」と「心と心をつなぐ まちづくり」の実現を目指して活動を展開しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ふれあいいきいきサロンをはじめとした地域福祉活動事業、ボランティアセンター事業等において活動の中止や規模縮小を余儀なくされたほか、デイサービス事業をはじめとした介護保険事業でも感染防止対策の徹底に迫られ、特に緊急事態宣言下においては、利用回数を制限する等の対応に迫られ、本会の事業活動は大きく影響を受けました。

事業報告

1. 法人運営事業

- ・ 理事会(3回) 評議員会(3回)開催
- ・ 監事会(1回)開催
- ・ 会費の徴収
- ・ 日常生活自立支援事業
- ・ 福祉基金の運営
- ・ 生活福祉資金貸付事業 相談及び貸付
- ・ 生活困窮者自立相談支援事業

2. 企画・広報事業

- ・ 広報活動(社協だより年4回発行)
- ・ ホームページ活用
- ・ 社会福祉大会の開催

3. 地域福祉活動推進事業

- ・ 福祉推進委員活動
- ・ 研修会(中止)、役員会(年2回)
- ・ 友愛訪問
- ・ 要援護高齢者等に対する支援活動(月1回民生委員訪問)
- ・ ほのぼの訪問
- ・ 独居高齢者に対する支援活動(月2回)
- ・ 福祉用具の貸出
- ・ 高齢者助け合いサポート事業
- ・ 独居又は高齢世帯へのワンコインサービス
- ・ あんしん見守りネットワーク活動の充実
- ・ (該当地区47地区中30地区で実施・見守り希望者141名)
- ・ いきいきサロンの充実と拡大
- ・ 備品等貸出
- ・ 地区(校区)別組織モデル事業(下宮地区公民館福祉委員会)
- ・ 下宮小学校区におけるサロン事業の展開(中止)

4. 福祉サービス推進事業

- ・ 弁護士による無料法律相談(年5回)
- ・ 心配ごと相談
- ・ (民生児童委員・行政相談委員・人権擁護委員による相談)
- ・ ふれあいいきいきサロン介護予防出前講座
- ・ 生活管理指導員派遣
- ・ もちのき園職員出向(職員2名出向)
- ・ 地域包括支援センター出向(職員1名出向)
- ・ 生活支援体制整備事業
- ・ 出会い創出支援事業(結婚相談サロン)
- ・ 毎月第4土曜日に実施

5. ボランティアセンター活動事業

- ・ ボランティア保険の加入
- ・ 地域福祉学習事業の実施
- ・ ボランティア連絡協議会の活動

6. 共同募金配分事業

- ・ 赤い羽根募金運動(10月1日から12月31日)
- ・ 歳末たすけあい募金運動(12月1日から31日)
- ・ ふれあいいきいきサロン事業(各地区・団体13ヶ所)
- ・ 子育て支援事業(各地区・団体2ヶ所 幼稚園中止)
- ・ サンタクロース訪問事業(町内幼稚園480名プレゼント配布)
- ・ 歳末ほのぼの訪問事業(ほのぼの訪問対象独居高齢者15名)

7. 介護保険事業

- ・ 居宅介護支援
- ・ ケアプラン1,724件 介護予防プラン228件
- ・ 訪問調査256件
- ・ 訪問介護
- ・ 訪問介護延べ5,361名 介護予防訪問介護延べ405回
- ・ 障がい者自立支援延べ341回
- ・ 通所介護
- ・ 通所介護 延べ7,794名
- ・ 介護予防通所介護 延べ289名